

PSC会員紹介③ 三井物産株式会社中部支社

昨年、新しくPSC企業会員になっていただいた三井物産株式会社がCSRとして取り組んでいる社会貢献活動を紹介します。

3つの重点分野で社会貢献活動を実施

三井物産のCSRは、社員一人ひとりが社会の視点・お客様の視点・自己を磨く視点で、「良い仕事」とは何かを常に意識し、実践していくことを根幹としています。社会貢献活動も当社の経済的役割・社会的存在意義を十分に考慮し、本業を補完する活動としてCSRの一部と位置づけています。この観点から ①国際交流 ②教育 ③環境を3つの重点分野と定め、当社らしい活動の推進を目指しています。

①「国際交流」～地域社会と一体になって

この分野では、日系ブラジル人子弟の教育支援に力を入れています。当社がビジネスを通じて長期かつ深い関係にあるブラジルと、より密接なパートナーシップを構築していくためには、経済面のみならず身近な社会問題の解決に向けた取り組みが大切です。特に日系ブラジル人最大の集住地区である当地域で「多文化共生」は極めて重要な課題です。

2009年9月には、JICA主催の失業日系外国人向け介護ヘルパー支援講座受講生の日本語学習を応援するという活動もボランティアとして実施しました。



②「教育」～経営理念に基づいた使命として

「人材主義」を経営理念に掲げる当社にとって大きな使命です。当地においては、2009年4月より名古屋大学並びに当地区中核企業との産学連携講座「グローバル人材育成プログラム」を開講しています。

③「環境」～地球の未来のために

地球環境問題の解決に向けたNPOや研究機関の活動を支援する「三井物産環境基金」の助成活動や、全国73カ所に所在する44000ヘクタールの社有林を活用した森林環境プログラムの実施などを行っています。



三井物産株式会社中部支社
所在地：名古屋市中村区名駅南1-16-21
(本店：東京)
URL：http://www.mitsui.co.jp/

PSC PICK UP! ピックアップ

第7回パートナーシップ大賞 2010年実施に向け、新たなしくみへ

今年の第7回開催に向けて準備を進めています。過去6回の総括を踏まえ、「NPOと企業の真の協働事例を全国から掘り起こし顕彰する」という本大賞の原点を大切に、新たなしくみに向けて動き出しました。全国のNPO中間支援組織、大学(研究室)、地方紙による有機的な活動とすべく、昨年末より協力していただけた大学(研究室)やNPO中間支援組織の募集を行い、北海道はじめ全国から多くの関心をお寄せいただきました。現在拠点となる6地域(7カ所)が確定しました(地図参照)。ご応募いただきましたみなさまに感謝申し上げます。

また、本大賞の裾野を広げ協働の持つ可能性をより力強く発揮していくためのキャンペーンを実施中です。協働開催に参加していただける企業・個人の方を引き続き募集しています。「パートナーシップ大賞」継続に向け、ぜひご協力をお願いします。詳細は、PSCホームページ (http://www.psc.or.jp) をご覧ください。

Partnership Award

パートナーシップ大賞運営拠点(現在)



NPO喫茶 「カフェ・アイリス」が生まれ変わります 2010年4月 リニューアル・カンパのお願い!

「カフェ・アイリス」(三井住友海上火災保険名古屋ビル1階)は、企業内の喫茶店をNPOが運営し、障がい者の就労支援をするとともに社員の福利厚生に寄与する目的で三井住友海上とPSCとの契約で実施してきたNPO喫茶です。このたび、1999年より運営に携わってきたNPO法人スイス21(PSC会員)がこの3月末で運営を終了し、4月からPSCと新しいNPO団体で運営していくこととなりました。

現在、リニューアルオープンに向けて準備中ですが、さまざまな備品や資金を必要としています。今後も更に皆さまから愛されるNPO喫茶として成長していくために、あたたかいご支援(備品等の提供やカンパ)をいただけないでしょうか。詳しくは同封のチラシをぜひご覧ください!(松橋)



事務局だより

このところ急に春めいて、早くも桜の開花が待ち遠しくなってきました。皆さまお変わりなくお過ごしでしょうか。事務局の一員となって半年、まだまだ「若葉マーク」の私ですが、担当する事業に日々奮闘しています。新年早々、家族3人皆がインフルエンザにかかるという「悲劇」に見舞われたものの、軽症で済んだのが幸いでした。さて、PSCでは新年度に向けて、事業の準備が着々と進行中。本格的な春の訪れを前に、既に熱気に包まれています。私もPSCの躍進の一助となるよう、健康第一で頑張ります。(木内)



PSC Report 8

パートナーシップ・サポートセンター Vol.70

発行 特定非営利活動法人
パートナーシップ・サポートセンター(PSC)
〒464-0067 名古屋千種区池下1丁目11番21号
ファースト地下ビル4F
TEL (052) 762-0401 FAX (052) 762-0407
E-Mail info@psc.or.jp URL http://www.psc.or.jp
発行人・岸田真代

協働事業模擬仕分け行政・NPO合同ワークショップ 愛知県委託事業

県内初、市民参加による協働事業仕分けに84名が参加!

行政向け最後のワークショップを前週に終え、ゴールとなる協働事業模擬仕分け合同ワークショップを2月5日(金)、名古屋市のウィルあいちで開催しました。

講師・コーディネーターは、滋賀大学地域連携センター特任教授の石井良一氏。早い時期から事業仕分けの研究に取り組み、大津市をはじめとする各自治体で実践するなど、事業仕分けの普及、定着に先導的役割を果たされています。

行政・NPO計84名の熱気に囲まれた中央の「仕分けテーブル」で、仕分け委員と自治体の事業説明委員がやり取りを繰り返すという図は、ある説明委員曰く「TVで見た風景そのもの」。もっとも費用対効果の視点だけではないこと、参加者の中から仕分け委員を選ぶことなど、まったく新しい試みでした。

石井氏も「協働事業の仕分けというのはあまり聞いたことがない」「愛知県では行政内部で事業仕分けをした例は2、3件あるようだが、市民サイドも参加したのは初めて

ではないか」とのこと。事務局としても初体験のため試行錯誤しつつも、皆さんから「面白かった」「勉強になった」との声をいただき胸をなでおろしました。特に事業を持ち寄っていただいた大口町、大府市、碧南市の各委員には多謝!です。(村田)



「仕分けテーブル」では、行政側説明委員に仕分け委員が鋭い質問を繰り返す。

ひとことピックアップ 参加者アンケートから

仕分け委員Aさん
皆さん初めてのはずなのに、これだけの議論ができたことにびっくりしています。

仕分け委員Bさん
行政とNPOが話を始めるいい機会になったと思います。今後、行政が協働化を進めていく上で、とても参考になりました。

NPO参加者Cさん
よその市町の職員さんや市民の皆さんを交えて事業を見直してみるの、幅広い意見が出ていいですね。



仕分け後、参加者の皆さんからも活発な意見が。石井さんも「いい感触だった」との感想でした。

“NPOと企業の協働”をめざして意見交換! 愛知県

2月4日(火)、愛知県社会活動推進課主催のNPOと行政のテーマ別意見交換会「NPOと企業の協働の推進について」がNPO交流プラザにて行われました。(ファシリテーター:PSC岸田代表理事。NPO5団体、企業・経済団体5社(団体)、行政7名が参加)

今回の目的は、意見交換を通じた問題意識の共有、課題の把握、解決策の検討。NPO、企業ともに協働のパートナーを探しているが、パートナーとなる企業・NPOに関する情報不足やお互いにメリットが得られる事業提案に至らないことが協働への課題として共有されました。その解決策として、NPOと企業をつなぐしくみ(情報サイト、出合いの場など)や、協働を促進する仕掛けとして、協働に積極的な企業を社会的に評価・顕彰すること、NPOとの協働が(総合評価落札方式等)評価要素に盛り込まれることなどが提案されました。

「行政も、NPOと企業の協働に関心があることがわかった」「あっという間に時間が過ぎた」(参加者のコメントより)。意見交換会は、参加者から次回の開催が待ち望まれる充実した機会となりました。(下平)



1 コミュニティ・ジョブ支援事業

講座+体験で第二の人生をサポート

コミュニティ・ジョブ支援事業も終盤となり、1～2月は登録者の方からリクエストの多かったテーマを中心に各種講座や職場体験を行いました。たとえば、「起業入門」講座では、漠然と描いていた事業案をかたちにするのを、「興味と得意分野の掘り起こし」講座では、これまでの経験から自己発見や今後の資源となるものを見つけるワークを行いました。「書き出してみよう」と、頭で考えていたことが抽象的だったことに気がついた（参加者アンケートより）など、改めて考えるよい機会になったようです。体験型講座では、環境、まちづくり、福祉などの団体を訪問し、活動内容の説明後に職場体験をさせていただきました。どちらへ向ったときも印象的だったのは、担当者の方のあふれんばかりの活動への愛情です。素敵な笑顔をありがとうございました。（井上）

■渡り鳥のサンクチュアリ「藤前干潟を守る会」さんでの体験

カモやシギがえさのカニ、ゴカイ、ジャコを探している様子が望遠鏡から見えました。藤前干潟はエサになる魚介類が豊富で、鳥たちにとって豊かな自然が残っています。参加者の中には干潟に入ろうと長靴など重装備の方もいました。



▲藤前活動センターから干潟の野鳥観察

2 環境アドバイザー

企業とNPOの協働環境活動ワークショップ 第2回を開催

企業とNPO、地域の協働による環境活動を促進し、2010年のCOP10開催地としてふさわしい地域づくりを進める目的で実施している本事業。第1回と同様に「生物多様性」「水環境の保全」「資源循環・その他」の3グループに分かれてのワークショップと合同発表会を、1月26日（火）に実施しました。企業とNPOの双方から熱のこもった意見交換が行われ、環境分野における協働への関心の高さが感じられました。

また、「企業と散策路をつくりたい」「ビジネスとして中小企業が関われる部分もあるのでは」というような意見も出されました。場所はウィルあいち、参加者は36名。（松橋）



1/26 ワークショップ・合同発表会

- 1/7 (木) あいち子どもNPOセンター理事会
- 1/8 (金) PSC新春合宿（～9日）⑥
- 1/9 (土) PSC拡大理事会
- 1/12 (火) 障がいのある子どもの父母のネットワーク愛知来所
- 1/13 (水) 田園社会プロジェクト来所
- 1/14 (木) ふくりび来所
- 1/16 (土) あいち未来塾本講義・2期生塾生会 ③
- 1/19 (火) 保養所研修、コミュニティ・ジョブきっかけ講座&相談会①
- 1/20 (水) 交通問題調査会、愛知県訪問、滋賀大石井氏来所、保養所河本氏来所
- 1/21 (木) コミュニティ・ジョブきっかけ講座&相談会①、パソナセコボレーション林氏来所
- 1/22 (金) 愛知県環境政策課来所、三井物産SH会議
- 1/23 (土) P賞運営委員会
- 1/25 (月) 中小企業環境CSR活動検討委員会、PSC新春交流会⑤
- 1/26 (火) 環境アドバイザーワークショップ②、カフェアリス説明会
- 1/28 (木) 京都府講演、シニアボランティア会議
- 1/29 (金) 協働事業模範仕分けワークショップ（行政向け・名古屋）、愛知県実務者会議
- 1/30 (土) あいち未来塾2期生塾生会活動（合宿、～31日）③、コラボ400市民・NPO向け講座STEP3（池下ピアサ）④
- 2/1 (月) 中日新聞本社訪問
- 2/2 (火) NPO会計臨時協議会・策定委員会（東京）
- 2/3 (水) チックトラベルセンター来所
- 2/4 (木) 緑化基金運用委員会、カフェアリス運営会議、NPOと行政のテーマ別意見交換会（ファシリテーター）、愛知県訪問
- 2/5 (金) 協働事業模範仕分け合同ワークショップ（NPO&行政・名古屋）、あいち未来塾塾生会（1期生）③
- 2/6 (土) 岩手県北上市講演、コラボ400市民・NPO向け講座STEP3（刈谷）④
- 2/7 (日) 岩手県遠野市訪問、北上市政策勉強会
- 2/8 (月) 県環境政策課打ち合わせ、愛知県委託事業説明会
- 2/9 (火) オルタナ訪問、Nサポ「社会起業カレッジ」講師（東京）
- 2/13 (土) あいち未来塾本講義・2期生塾生会③、コラボ400市民・NPO向け講座STEP3（三重）④
- 2/15 (月) 保養所研修、愛知県内支援センター情報交流会（参加）
- 2/16 (火) コラボ400企業向け講座（名古屋JC会館）④、あいち未来塾塾生会（1期生）③
- 2/17 (水) 県環境活動セミナー基調講演② あいち未来塾運営委員会③
- 2/18 (木) コミュニティ・ジョブ連絡会、コミュニティ・ジョブ説明会&職場体験①
- 2/19 (金) コミュニティ・ジョブきっかけ講座①
- 2/20 (土) コラボ400市民・NPO向け講座STEP3（岐阜）④、コミュニティ・ジョブ説明会&職場体験①
- 2/22 (月) Nサポ全国会議・幹事会（東京）
- 2/23 (火) コミュニティ・ジョブきっかけ講座①
- 2/24 (水) コミュニティ・ジョブ説明会&職場体験① あいち未来塾塾生会（1期生）③
- 2/25 (木) シニアボランティア会議
- 2/26 (金) P賞運営委員会

3 あいち未来塾

卒塾に向けて、最後の追い込みがんばってます！

1期生はこの1年間、各フィールドにてグループ活動を行ってきました。現在、グループ活動を継続しながら3月6日（土）の成果報告会に向けて活動のまとめと、「成果報告書」「地域プロデューサー読本」の制作を進めています。各グループの担当者が、仕事や活動で忙しい中を時間調整ができる平日夜に集まって編集会議を行い、課題を持ち帰って自宅で原稿を修正してまた集まるというハードな状況で取り組んでいます。「成果報告書」は、グループ活動の成果のまとめやそれぞれの想いをつづり、「地域プロデューサー読本」は、私たち1期生の体験から抽出した地域活動についての気づきや知恵を集約しています。「地域プロデューサー読本」については、代々の塾生に補充していただきながらあいち未来塾の財産になればと思っています。

（1期生 加藤美智代）



想いがアツすぎて…

1月30日（土）～31日（日）、塾生会活動として合宿を愛知県青年の家（岡崎市）で開催しました。（塾生参加者12名）

今回は、4月以降に取り組む「創造実践コース」を念頭に、塾生が把握している地域の問題点や課題を持ち寄り、取り組みたいことや活動の重点、チーム名の検討等を行いました。写真は、グループ活動に向けた想いを俳句にしたため、発表したものです。話し合いは熱を帯び、休憩時間中や夜のミーティングも自然発生的に集まりができるほどでした。愛知青年の家の指定管理者であるNPO愛知ネットの天野理事長にもお話しいただき、立ち上げから今日までの歴史、苦心談、その中から学んだ組織が信頼されるための取り組み姿勢や運営ノウハウ等も大きな収穫となりました。今後の塾生会活動は、2月から3月にかけて、今回アウトプットした内容を改めて議論し、グループ活動計画書提出に備える予定です。

（2期生 澤田喜作）



4 企業・市民・NPOコラボ400

昨年9月にスタートした「企業向け講座」「市民・NPO向け講座」とも、いよいよSTEP3へ。今年7月の協働フォーラムに向けて、締めくくりの講座となりました。延べ21回となる講座参加者から1件でも多く、協働フォーラムでのアイデア提案につなげたいと考えています。今後、協働フォーラム開催の詳細は順次案内していきますので、アイデアの芽をマッチングに結びつけられるよう、皆さんのご参加をお待ちしています。（山崎）

**企業向け講座STEP3
NPOとの協働企画講座
「協働成功のための提案書づくり」
2月16日（火）名古屋JC会館**

企業の立場からNPOとの協働を提案してもらおうのが目的。最初に、講師の村田正嗣氏がパートナーシップ大賞の受賞事例を紹介しながら、企画書作成の手法を解説しました。続くワークショップでは、参加者自身が持ち寄った4つの協働アイデアについて、グループごとに提案書づくりに取り組みました。

最後のプレゼンでは、「無農薬野菜の直売用ダンボールを活用する（企業名をダンボールに入れるなど）」「ゴミ捨て場を地域のアートの場として住民が集う場にする」といった魅力的なアイデアが披露されました。参加者47名。（木内）



**市民・NPO向け講座STEP3
プレゼンテーション魅力アップ講座
「効果的なプレゼンへチャレンジ！」
2月13日（土）みえ県民交流センター**

～参加者からの感想～

講師の山崎英夫さん（広告企画制作会社チーフプロデューサー）は、①プレゼンとは「想いをプレゼントすること」②相手の悩みや課題をこちらの提案で解決すること③before（課題）→（提案）→ after（解決した未来）について簡便明確に説明され、プレゼンの極意を8つ伝授してくださいました。その後、参加者からの課題提供を受けて3つのグループに分かれ、プレゼン企画づくりとプレゼン体験、他者評価を、短い時間に体験しました。

充実した内容ですんなり受け止めることができ、講師の力量にただただ感心しているうちに、あっという間に時間が過ぎてしまいました。内容の質の高い講座を開催していただいたことに感謝します。（N）みえきた市民活動センター理事長 服部則仁）

参加者：13名
その他の開催
名古屋1/30：24名
刈谷2/6：31名
岐阜2/20：14名
残すは3/13岡崎です。
皆さまのご参加をお待ちしています。



5 新春交流会

**初春や つぶやき出会う 宴かな
41名の参加を得て新春交流会は大盛況**

1月25日（月）午後6時、新規会員「花*花」さんのケータリング料理が並び、新しい顔、懐かしい顔もそろったところで、デンソーユニティサービス小川社長の音頭で乾杯！その後参加者は続々と増え、最終的には41名+幼児3名。楽しい会となりました。

クワイマックスは協働マッチング・ゲーム。新しい年への想いをこめた「つぶやき」が、特製大マイク（？）の魔力ゆえが響き合い、協働アイデアにふくらみそうな気配も…。この調子で1年が爽りあるものとなりますように。（村田）



PSC代表岸田の“東へ西へ”（2010年1月2月）

2月も後半になって年賀状の話ではいささか無粋と承知でご紹介したい1枚がある。大学院時代にPSCで2年間事業に関わり、今はコンサル会社で働く好青年から、「就職して3年が経ち・・・まだまだいただいているお金以上に成果をあげるまでには至っていませんが・・・」とある。そう書いた理由を「僕の仕事感の原点はPSCだから」と。NPOで働いた経験が仕事への真摯な姿勢につながっているのを知るのには心底うれしい。

年明け早々、今年で13回目となる恒例のPSC新春合宿&拡大理事会を1/8（金）～9日（土）に実施。2日目のワークショップから新しい発想が広がった。1/19（火）、2/15（月）は第8、9回目の保養所の職員研修で渥美半島の伊良湖岬へ。1年目も終盤へ向け力が入る。1/22（金）には4面でご紹介の三井物産さんのステークホルダー会議に昨年に続いて出席。

1/28（木）には京都府で、企業とNPOの協働をテーマに2度目の講演。翌1/29（金）には「協働事業模範仕分けワークショップ」の行政向け4回目を担当。2/5（金）にはそのまとめとなる合同ワークショップを、NPOと行政80名余を集めて開催（名古屋）。大いに盛り上がり、「予想以上の成果」と委託元の愛知県から評価。

2/2（火）は、NPO会計臨時協議会・策定委員会（東京）に参加

し、全国のNPO支援センターの方たちと意見交換。2/4（木）はこれまた「NPOと企業の協働」をテーマに、愛知県のテーマ別意見交換会でファシリテーターを務める。2/6（土）は一面銀世界東北へ。岩手県北上市で地域貢献フォーラムにて講演。翌2/7（日）には朝から足を伸ばして同県遠野市へ。「第6回パートナーシップ大賞」入賞の遠野ドライビングスクールをNPOの方とともに訪問。午後には舞い戻って北上市の政策勉強会の講師。2/9（火）には再び東京へ。オルタナを訪問し、夜は「社会起業カレッジ」（経済産業省・Nサポ他）で講師。

2/16（火）はコラボ400の協働企画講座（企業向け）を名古屋JC会館にて開催。40名を超える企業人がNPOとの協働を考える一歩となった。2/17（水）は愛知県環境活動セミナーにて基調講演&パネルディスカッションのコーディネーター。「感銘を受けた」という過分の評価をメールでいただき恐縮。夜にはあいち未来塾卒塾認定会議。第1期生の卒塾もすぐそこまで来ている。（2010.2.22 岸田真代）



▲2/17 愛知県環境活動セミナー